

## 南花台中央公園 愛称候補

No.	愛称案	コンセプト・趣旨
1	SAKAS南花台	街を咲かせる、花を咲かせる、サッカーをする、街中を盛り上げる存在の公園であれ、との気持ちで
2	つばーく(TSUBARK)	「つばめ」+「パーク」の造語
3	HANA-MINA SUN PARK	<p>「HANA-MINA SUN PARK」は、南花台の「花(HANA)」と「みんな」に加え、地域名の「南」にも響きを重ねた“HANA-MINA”に、地域を明るく照らし、人の集まりや活動を生む“太陽(SUN)”のイメージを掛け合わせた愛称です。</p> <p>また「SUN」は太陽の意味に加え、周囲から見えやすく、人や活動が自然と集まる“台”という地形的イメージ、さらにスポットライトの中心としてまちの出来事が集約される“象徴的な中心点”という意味も重ねています。</p> <p>「HANA-MINA」のみでは、“花”や“人のつながり”といったやさしい印象に留まり、公園が担う役割(にぎわいの創出、交流の起点、地域の拠点性)まで直感的に伝えにくい側面があります。</p> <p>あえて「SUN」を加えることで、公園が地域を照らす“エネルギーの源”であり、スポットライトを浴びるように人や活動が集まる“中心的な拠点”であることを明確に打ち出しています。</p> <p>また、本愛称はブランディングや事業展開に横断的に活用できる拡張性を持たせています。</p> <p>HANA-MINA SUN マルシェ、HANA-MINA SUN フェスタ、HANA-MINA SUNロード、HANA-MINA SUN カップ(スポーツ大会)など、名称を統一して展開することで、公園を核としたにぎわい創出や市民参加型の取組を継続的に発展させられる可能性を持っています。</p> <p>将来の施設整備や社会実験、広報展開、イラストやロゴ作成においても一貫したブランドとして育てていけるよう提案します。</p>
4	Sola-Niwa Canvas 通称:「空-Can(ソラキャン)」	<p>「Sola-Niwa Canvas」 通称「空-Can(ソラキャン)」</p> <p>南花台が持つ“空の広がり”と“人が集い育つ庭”という地域の本質を表現するとともに、この場所が未来を描く舞台であることを象徴した名称です。</p> <p>南花台は高台に位置し、広い空と風、周囲の山々の借景に恵まれた、開放感あふれるまちです。本公園は、その魅力を最大限に体感できる場として整備され、天然芝のサッカースタジアムを中心に、多世代が集い、交流し、日常と非日常が交差する空間となります。</p> <p>「Sola」はこの地の象徴である空の広がりと開放性を表しています。</p> <p>「Niwa」は人々が集い関係性を育む公共空間としての価値を表しています。</p> <p>「Canvas」は訪れる人一人ひとりが活動や挑戦、交流を通じて新たな物語や風景を描いていく可能性を表しています。</p> <p>人口減少や空き家増加という河内長野市のネガティブな課題に対し、「Sola-Niwa Canvas」は単なる施設ではなく、未来を描き続ける“起点”となる存在になってほしいという思いを込めた名称です。</p>
5	ウイングパーク南花台	2つの羽根のような公園。サッカーのポジション。明るい兆しの上昇感
6	グリーンフィールド南花台	ゼロからの立ち上げを意味します。